

令和7年10月21日

世田谷区産業振興公社

令和6年度世田谷区産業振興公社の改革方針の取り組み状況

1 改革方針について

公益財団法人世田谷区産業振興公社（以下「公社」と記述）では、設立以降の社会状況の変化を踏まえ、公社が引き続き区や民間セクターに対して優位性を保ちながら事業を実施していくため、体制・事業の見直しを進める改革方針を4年2月に策定した。改革方針に基づく取り組みについて、6年度の進捗を報告する。

2 取り組み状況の評価

公社では、6年度も改革方針に基づき主要事業4分野（融資・経営相談、雇用・就労支援、勤労者福祉《セラ・サービス事業》、地域活性・観光）の取り組みを進めた。

特に地域活性・観光事業では、世田谷みやげ20周年記念事業として、5月に編集者・評論家の山田五郎氏が「世田谷みやげアンバサダー」に就任、5年ぶりに開催した世田谷まちなか観光交流協会主催イベント、観光メッセ「SETAGAYA DAY! 2024」で記念トークショーを実施、イベント全体では来場者約3万5千人を集め、地域の活性に貢献した。

融資経営支援の事業のうち、創業に関する支援では創業融資あっせんを前提とした相談の増加に対応し、特定創業支援等事業ではオンライン形式による講義で、受講者の利便性向上と業務効率化を図った。また、雇用・就労支援では、ミドル・シニア対象の就職支援セミナーの開催を増やしてマッチングに繋げるよう取り組み、各ニーズに込えている。

セラ・サービスでは、5年度当初から福利厚生・代行事業者の(株)ベネフィット・ワンへの本格的な事業委託を開始し、24時間受付等の利便性向上や利用施設の大幅な増加を実現した。一方で、会員数はほぼ横ばいであることから、会員数の増加に向け、更なる取り組みを進める。

公社はセラ・サービス事業をはじめ改革方針の取り組みを確実に進め、今後も区内中小企業の経営強化と事業者の生活・福祉の向上に貢献する。

3 各分野の進捗

改革方針で示した行動計画について、各分野の進捗は以下の通りである。

(1) 融資あっせん・経営相談

区内事業者の経営課題に対し、中小企業診断士が訪問相談等により伴走支援する「中小事業者伴走型支援事業」を令和5年度より実施している。令和6年度は金融機関への周知依頼や公社事業利用者への周知等の広報活動を行ったことにより、前年度より利用回数が増加した。

また、受講希望者が多い特定創業支援等事業について、オンデマンド配信等により受講する「創業講座」を実施し、受講者の利便性向上や事務の効率化を図った。

さらに、区からの受託事業である融資あっせんの情報と、公社自主事業である経営相談の情報を一元管理するため、区と協定を締結し、令和6年度途中から運用している。これにより、融資あっせんと経営相談の情報を区・公社で共有することが可能となったため、今後の施策立案や事務見直し等に繋げていく。

《主な事業実績》

① 中小事業者伴走型支援事業

項目	目標	実績	達成状況
相談事業者数	23事業者	49事業者	達成
相談回数	95回	100回	達成

② 創業講座

項目	目標	実績	達成状況
受講人数	300人	304人	達成

(2) 雇用・就労支援

世田谷区三軒茶屋就労支援センター（三茶おしごとカフェ）は、就労相談窓口や情報コーナー、ハローワークの職業紹介窓口「ワークサポートせたがや」を併設し、区内就労支援サービス拠点として運営しており、就職を希望する求職者向けに区内及び近隣の求人の紹介、おしごと相談、キャリアカウンセリングや就職支援セミナー等を実施している。

求人件数は福祉・清掃・警備等の人手不足産業を中心に増加し、おしごと相談やカウンセリング件数も増加している。

セミナーは、会場開催とオンライン開催の2種類あり、受講者の年齢層や受講後のアンケートのニーズを踏まえて企画を行っているほか、人手不足産業を中心に特定の業界にフォーカスした説明会を開催しており、参加人数や個別相談件数は増加している。

また、シニアの多様な働き方支援(R60-SETAGAYA-)も案件数は増えている一方で登録者数は減少している。これは本事業が抱える構造的問題が背景にあり、求人と異なり紹介もなく案件掲載のHPを見て希望者が直接交渉に赴くスタイルのため、こちらで実績把握が

しづらいことも一因である。今後公社でも実績把握のため、求人同様紹介するよう改善を検討する。

《主な事業実績》

① 事業所が参加した業界別説明会

項目	目標	実績	達成状況
説明会開催数	10回	10回	達成
事業所見学数	20人	11人	約5割

② 就職支援セミナー・事業所求人支援セミナーの開催 ※HW等との共催セミナー含む

項目	目標	実績	達成状況
開催数	180回	182回	達成
参加者数	5,000人	6,041人	達成

(3) 地域活性・交流推進事業

世田谷みやげ事業では、118の商品を指定（新規商品13点のうち体験型が2つ）。世田谷みやげ20年目の節目として、各種記念事業も実施した。また、事業者訪問を実施し、事業者の課題やニーズの把握、事業者と顔の見える関係を築く対応を行うことで、事業の活性化を図った。

世田谷まちなか観光交流協会の運営では、会員相互との連携やつながりを強化するため、交流会や部会を開催した。協会認知度向上と観光客誘致促進を図るため、協会主催イベントも開催した。

世田谷みやげや世田谷まちなか観光交流協会のPR、交流自治体の区内での出展機会を創出するため、イベントへの出展回数も増え、地域経済の活性や地域の賑わいに寄与し、能登半島地震の復興支援のため物産展及び募金活動も継続した。案内所の利用者も増え、区内外からの来訪者呼び込みを強化するため、SNS等を活用し情報発信を推進した。

7年度も区内外の幅広い層へ世田谷みやげのブランド力、認知向上を図り、観光情報の発信強化をするとともに、主催する「観光メッセ」等のイベントを実施し、地域の賑わいの創出と地域経済の活性化を推進する。

《主な事業実績》

① 世田谷みやげ

項目	目標	実績	達成状況
世田谷みやげ指定内容	体験型の指定数増	2 増《計 3 》	達成

② 世田谷まちなか観光交流協会主催イベントの開催

項目	目標	実績	達成状況
開催回数	4 回	4 回	達成

③ イベントでの出展

項目	目標	実績	達成状況
出展イベント回数	2 5 回	3 3 回	達成

※出展者は、世田谷みやげ指定事業者、まちなか観光交流協会会員、交流自治体

(4) 勤労者福祉（セラ・サービス事業）

6 年度は、職員によるサポートデスクにおいてベネフィット事業のアカウントの登録方法について丁寧な対応を行うとともに、会報誌等でベネフィット事業の紹介と、ベネアカウント登録キャンペーンとして映画等のチケットを安価で販売を行い利用者増に努めた。

独自事業では、5 年度、6 年度と続けて開催した事業運営検討会において、会員からの要望が多かったゴルフ場利用補助、資格・検定受験料補助、世田谷区民健康村利用補助の申請方法や申請回数、補助額を改善し、会員の希望に沿ったサービスの提供に努めた。

また、各事業の申請をホームページから行えるデジタル申請や7 年度から開始する WEB 会員証においては、利用者である会員の利便性を重視し、より質の高いサービスの提供を行うことを目的として実施している。会員数は横ばい、微減が続いていることから、会員や未加入事業所のニーズを把握するとともに、充実したサービスの提供に努め、会員の増強やサポートデスクを引き続き運用し、利用者の増加を図って行く。7 年度は会員数 8, 1 0 0 名、事業利用率 5 0 % を目標とする。

《主な事業実績》

① 会員数

項目	目標	実績	達成状況
会員数	8, 0 0 0 名	7, 6 4 0 名	9 割強

② 事業利用の状況

項目	目標	実績	達成状況
事業利用率	40%	44.2%	達成

※事業利用率＝（年度内に事業利用があった会員数／全会員数）

（５）DX推進

公社では、世田谷区の「外郭団体における区民サービスに係る手続き・申込のオンライン化推進について」を受けて５年度に整備した各種サービスの電子申請化、キャッシュレス化、オンラインサービス提供の基盤をもとに、６年度はさらにセキュリティーを高め、効率化を進めた。

《主な事業実績》

項目	目標	実績	達成状況
新たなリモートアクセスシステム	導入	４月から利用開始	達成
不正アクセス制御のためのセキュリティーサービス	導入	９月から利用開始	達成

その他、利用希望者からのボランティアガイド利用申込をWEB申込全面移行や、自動音声文書化システムによるトライアルを行い令和７年度導入に向けた準備、会議室利用者への周知のため、令和７年度期中実施に向け、会議室検索サイトの情報掲載準備にも取り組んだ。

《今後の課題》

- ・ウイルス感染や不正アクセスへのセキュリティー対策に力を入れていくと共に、職員のネットワークに対する意識も高めていく。
- ・時間を取られていた作業をAIにより効率化するなど、更なる作業効率化を進める。
（自動音声文書化システムなど）

（６）施設活用

６年６月の産業プラザ５階の三茶しゃれなあどホール移転による管理体制の変更に合わせ、利用者の利便性向上ならびに事務効率化を図るため３階の貸し会議室の予約システム・電子施錠システムを導入し、６年３月から新たな予約システムでの受付を開始した。今後は、新規顧客の開拓も含めて広報等を進め、集客を図り、稼働率向上に努める。

《主な事業実績》

① 貸会議室（３階）の活用

項目	目標	実績	達成状況
新たな予約システム	導入	３月から一般予約開始	達成
電子施錠システム	導入	６月から一般利用開始	達成

（７）組織運営

職員の年齢構成の偏りを解消し、継続的な事業運営体制を構築するため、人材派遣会社からの派遣職員や区派遣職員の縮減を図るとともに、４年度より固有職員の採用を行っている。６年度も職員体制を整備し、効率的で質の高い業務を執行するため、職員採用等を行った。また、５年度から人事考課制度を導入するとともに、区の研修への職員参加を進め、職員のモチベーション向上を継続的に取り組んだ。

① 職員採用選考

項目	実績	達成状況
４年度（５年２月１日採用）固有	３人	達成
４年度（５年４月１日採用）固有	３人	達成
４年度（５年４月１日採用）契約	２人	達成
５年度（６年４月１日採用）固有	１人	達成
６年度（６年１１月１日採用）固有	１人	達成

② 人事考課制度及び職員研修への参加

項目	目標	実績	達成状況
人事考課の実施	実施した	実施した	達成
区研修への参加	２５回	２５回	達成